

「芝浦アーバンデザイン・スクール2 - 地域まちづくり組織への実装 -」プロジェクト

代表者	前田英寿【教授】(建築学部 建築学科)
構成員	

■プロジェクトの概要

このプロジェクトは、2013年度から大学COC事業の一環で行った「芝浦アーバンデザイン・スクール」を、実際のまちづくり組織に実装し、地域が抱える課題に取り組みながら、建築都市計画の教育、研究、社会貢献の量質を高めることを目的とする。芝浦アーバンデザイン・スクールは学びを通して建築、都市、地域の未来を探ることを理念に掲げ、行政、市民、企業、海外と関わりながら、①教育：地域の建築物や都市空間を題材とする建築都市計画演習、②研究：地域の課題に応じるゼミナール、③社会貢献：地域行事等における情報発信、以上を融合的に実施してきた。この教育・研究・社会貢献のパッケージを、まちづくりの現場で用いて身につけるのが、このプロジェクトのねらいであり、2021年度はその3年目である。

■教育改革研究活動助成(地域志向)活動の成果

3つの連携エリアで上記概要の①教育、②研究、③社会貢献を行った。

1. 清水港（静岡県静岡市清水区）

プロジェクト代表者とその研究室学生が「清水みなとまちづくり公民連携協議会」に参加した。<https://shimizuportcity.jp/>

【教育】①地域の建築物や都市空間を題材とする建築都市計画演習：建築学科4年9名が都市デザインの基本理論を用いて東京都内または近県の地域を分析し、同じ手法を清水港のフィールドワークに用いた（※1）。

【社会貢献】③地域行事等における情報発信：プロジェクト代表者が清水港のみなとまちづくりについて講演した。前田英寿「清水の未来ひらくみなとまち」2021年5月10日第9回静岡まちみがきセミナー

※1 学会発表：前田英寿「大学建築学科都市デザイン分野卒業設計における理論書と事例集の活用」日本建築学会2021年度大会学術発表会

2. 柏駅中心市街地（千葉県柏市）

プロジェクト代表者とその研究室学生が「柏アーバンデザインセンター」に参加した。<https://www.udc2.jp/>

【研究】②地域の課題に応じるゼミナール：修士1年10名が「都市デザイン研究特別演習1」の一環として、柏駅中心市街地を題材に「パブリックライフとパブリックスペースの観察的計画」を行った。

【社会貢献】③地域行事等における情報発信：プロジェクト代表者が柏アーバンデザインセンターと協力し、前記の研究成果を同センター策定『柏セントラル・パブリックライフガイド』に盛り込んだ。

3. 浦和美園（埼玉県さいたま市）

プロジェクト代表者とその研究室学生が「アーバンデザインセンターみその」に参加した。<https://www.misono-tm.org/udcmi/>

【教育】①地域の建築物や都市空間を題材とする建築都市計画演習：修士1年10名が「都市デザイン研究特別演習1」の一環として、アーバンデザインセンターみそのから出題された都市デザインスタジオ「美園スタジアムタウンビジョン2050を実現する保留地活用計画」を行った。



清水港の現地調査



柏アーバンデザインセンターの訪問



浦和美園スタジアムタウンの現地調査

主なピックス

■ 静岡県清水港のフィールドワーク「ひらく みなとまち10の視点」

- 建築学科都市デザイン研究室4年9名が、清水みなとまちづくりランドデザイン（2019年7月清水みなとまちづくり公民連携協議会）「ひらくみなとまち10の視点」に即して清水港（静岡県静岡市）を分析した。
- ①清水みなとまちづくりランドデザインのパネルを清水みなとまちテラス（静岡市清水区）に展示した。
 - ②予備調査（4～5月）東京都または近県を題材に都市デザインの理論書を用いて地域分析を行った。
 - ③現地調査（10月11日）清水港及び周辺を訪れ、貸し自転車と水上バスで調査した。
 - ④図上分析（10月12日～29日）現地調査の結果を都市デザインの理論書を参照してシートにまとめた。
 - ⑤プロジェクト代表者を通じて、分析結果を清水みなとまちづくり公民連携協議会に書面と口頭で報告した。

清水みなとまちテラスにおける展示→



視点1 / 海洋経済



分析シート（視点1 海洋経済）

視点3 海洋研究 静岡静岡清水区



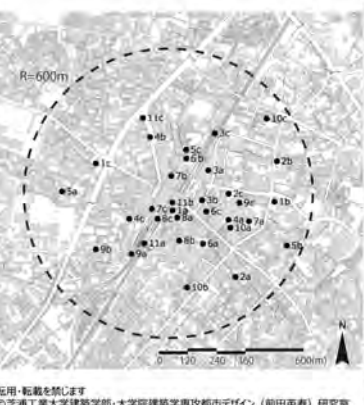
分析シート（視点3 海洋研究）

■ 柏駅中心市街地と浦和美園スタジアムタウンを題材とした都市デザイン研究特別演習

建築学専攻都市デザイン研究室修士1年10名が「都市デザイン研究特別演習1」の中で、アーバンデザインセンターと交流し、柏駅中心市街地（千葉県柏市）と浦和美園スタジアムタウン（埼玉県さいたま市）を研究した。

大学院建築学専攻修士課程1年 都市デザイン研究特別演習(ゼミ)
 1.安藤名駿 2.伊藤亜沙人 3.小林美穂 4.小宮大輝
 5.小森颯 6.呉先廷 7.橋本侑果 8.林拓実 9.原中運也
 10.四平綾香 11.陳春霞

作業1 パブリックライフとパブリックスペースの観察 6/2-6/15
 作業2 パブリックライフとパブリックスペースの計画 1人3案6/22-7/27



柏駅中心市街地パブリックライフ・パブリックスペースの観察的計画

1a	まちなかパトロール	サッカーや野球を身近に感じられるイベント空間の創出
1b	チャイルドガーデン	保育施設との距離と保護者向けスペースの創出
1c	パワーステーション	住宅密着型の高質化可能な休憩スペースの創出
2a	レイアウトバリエーション	道路の幅員や歩道の幅員など、歩行者の行動パターンを考慮したレイアウトの創出
2b	かんたんなウォーク	歩行者の行動パターンを考慮した、歩行者にとって使いやすい歩道の創出
2c	モバイル情報機	スマホ・タブレット端末の活用による、歩行者の行動パターンを考慮した情報提供の創出
3a	SOGO Side	再開発を機にした歩行者の行動パターンを考慮した歩道の創出
3b	stand parking	キックボードが活用しやすくなる駐車場のレイアウト
3c	パワーステーション	既存駐車場の活用による利用者を想定しないサインポイント
4a	どろみパーク	既存駐車場の一部をキックボード広場空間に
4b	バスステイ	歩行者の歩行空間の一部を利用した、パークレットの創出
4c	Play Ground	ボールから生まれる交流の創出
5a	Mobile GARDEN	住宅地のスキマを移動して、コミュニティガーデン
5b	ウラシ	STREET 緑の文化で、コミュニティガーデンを創出
5c	エキゾチック	ストリート・ショップで、大規模な創出
6a	まず見るしついで	DAVONEの一角に、大規模な創出
6b	ミニパーク	既存場所の活用による休憩スペースの創出
6c	KASHIWATANI	既存場所の活用による休憩スペースの創出
7a	Greening Park	元町通沿い、大規模な創出
7b	柏市民会館	駅前通り沿い、大規模な創出
7c	まちなかLibrary	デッキ上層外置型
8a	PRINCE	分譲マンションの活用による休憩スペースの創出
8b	たけのこ	既存場所の活用による休憩スペースの創出
8c	トレイルパーク	既存場所の活用による休憩スペースの創出
9a	緑地公園	既存場所の活用による休憩スペースの創出
9b	おむつパーク	既存場所の活用による休憩スペースの創出
9c	まちなか公園	既存場所の活用による休憩スペースの創出
10a	アップロード	既存場所の活用による休憩スペースの創出
10b	園丁公園	既存場所の活用による休憩スペースの創出
10c	夜やけ公園	既存場所の活用による休憩スペースの創出
11a	The new "line"	緑地公園の活用
11b	The new "point"	既存場所の活用による休憩スペースの創出
11c	The new "grid"	道路空間の活用による休憩スペースの創出



美園スタジアムタウンビジョン2050を実現する保留地活用計画